

品番 YE-CM61W (ホワイト)

Shunsai

Cook Master Shunsai

取扱説明書

保証書付



CM61
COOK MASTER

このたびは「クックマスター・Shunsai (旬彩)」をお買い求めいただきありがとうございます。
ご使用前に必ず本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、ご使用中に分からないことやトラブルが生じたときのために、お読みになった後は必ず本書を保管してください。

目次

PART 1	安全上のご注意	3
PART 2	各部名称	5
PART 3	本製品でできること	6
PART 4	使いかた	7
PART 5	お手入れ／保管のしかた	12
PART 6	こんなときは？	15
PART 7	製品の仕様	18



PART 1

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。







お使いになる人や、他の人への危害・財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重症」に結びつくおそれのあるものです。	 注意	「軽傷または財産の損害」が発生するおそれのあるものです。
---	-------------------------	---	------------------------------

お守りいただく内容を、以下の図記号で区分して説明しています。

	してはいけないことです。		必ず実行すべきことです。
---	--------------	---	--------------

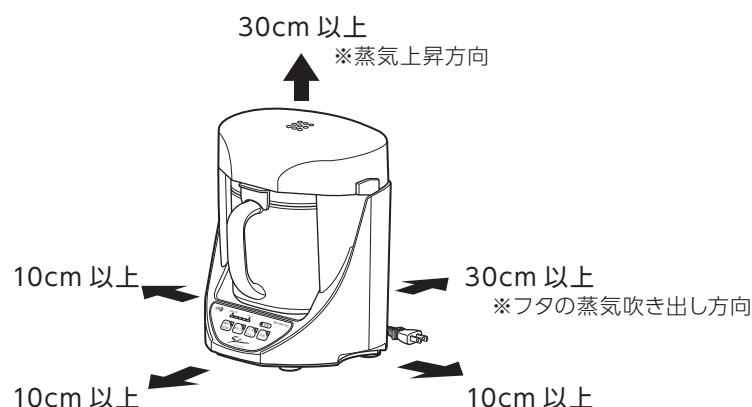
 警告		
火災を防ぐために		電源プラグやコードを、傷つけたり、破損させたり、引っ張ったり、加工したりしない。 コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外で使用しない。 タコ足配線はしない。
		電源プラグにほこりが付着しているときはよく拭き取る。 異常・故障時には、ただちに使用を中止する。
ショートや故障を防ぐために		電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 ※お買い上げの販売店または、山本電気お客様相談センターへご相談ください。 運転中にフタ蒸気口の中に、箸・スプーンなどを入れない。
		電源プラグは根元まで差し込む。 電源プラグに水滴が付着しているときはよく拭き取る。
感電やケガを防ぐために		本体を水につけたり、水をかけたりしない。
		ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。
		分解したり、改造はしない。
		カッターの刃は鋭利なので、直接手を触れない。
		フタの蒸気口に顔や手を近づけない。
		フタの蒸気口をふきんなどでふさがない。
		調理直後の容器・カッターの金属部は、熱くなっていますので、手を触れない。 液体及び、材料を合計 800 ml 以上入れない。材料が噴き出すおそれがあります。 (やけど注意) ※レシピを参照ください。
子供や取り扱いに不慣れな方だけでのご使用や、乳幼児の手の届くところで使わない。		

⚠ 注意

火災を防ぐために	⊘	コードを本体に巻き付けたまま使用したり、コードを束ねたまま使用したりしない。異常時（こげくさい、煙が出る、本体が熱くなるなど）は、運転を中止し電源プラグを抜く。	
	!	使用時以外は、電源プラグを抜く。	
ショートや故障を防ぐために	⊘	液体の水位は、容器内面の MAX ライン (800 ml) を超えない。 ※レシピを参照ください。	
		電子レンジやオーブンで使用しない。	
		容器に液体や材料を入れないで、空回し運転をしない。	
		容器は、水の中につけ置き洗いをしない。 変形や破損など異常があるときは使用しない。	
	!	容器を火にかけたり、電子レンジ・オーブンなどで使用したりしない。	
		電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持つ。	
		フタを開けるときは、蒸気に注意する。	
		フタの蒸気口を壁や家具などから離して使用する。 本体・容器・フタに強い衝撃を与えない。 食器洗い乾燥機での洗浄はしない。	
感電やケガを防ぐために	⊘	不安定なところやテーブルの端などで使用しない。 運転中に移動させない。 本体の隙間や穴などにピン・針金・スプーン・フォークなどの金属を入れない。 調理直後のフタは熱くなっていますので、注意する。 火気の近く、水のかかりやすいところ、カーペット・ビニール袋・ふきん・タオルの上では、使用しない。 調理材料を取り出すときは、レードル（おたま）やヘラなどで取り出す。 くり返し運転は定格時間ごとに、30 分以上間隔をあけて使用する。 火気の近く、室内の高いところ、直射日光の当たるところ、湿度の高いところには、置かない。 材料以外は入れて使用しない。	
		!	お手入れをするときは、電源プラグを抜く。
			持ち運びは必ず本体底を両手で持つ。

⊘ 使用する場所についての注意

- 壁や家具等から離してご使用ください。製品後方（背面）にあるフタの蒸気口から蒸気が出ます。
- シミや変色のおそれのあるものの上で使用しないでください。フタの蒸気口から水滴が落ちる場合があります。
- 使用する場所については、周囲に物を置かないでください（下図参照）。ガスコンロ等火気の近くや蒸気や熱風等高温の出る製品及び場所からは、十分に離してください。製品が破損する恐れがあります。



PART 2

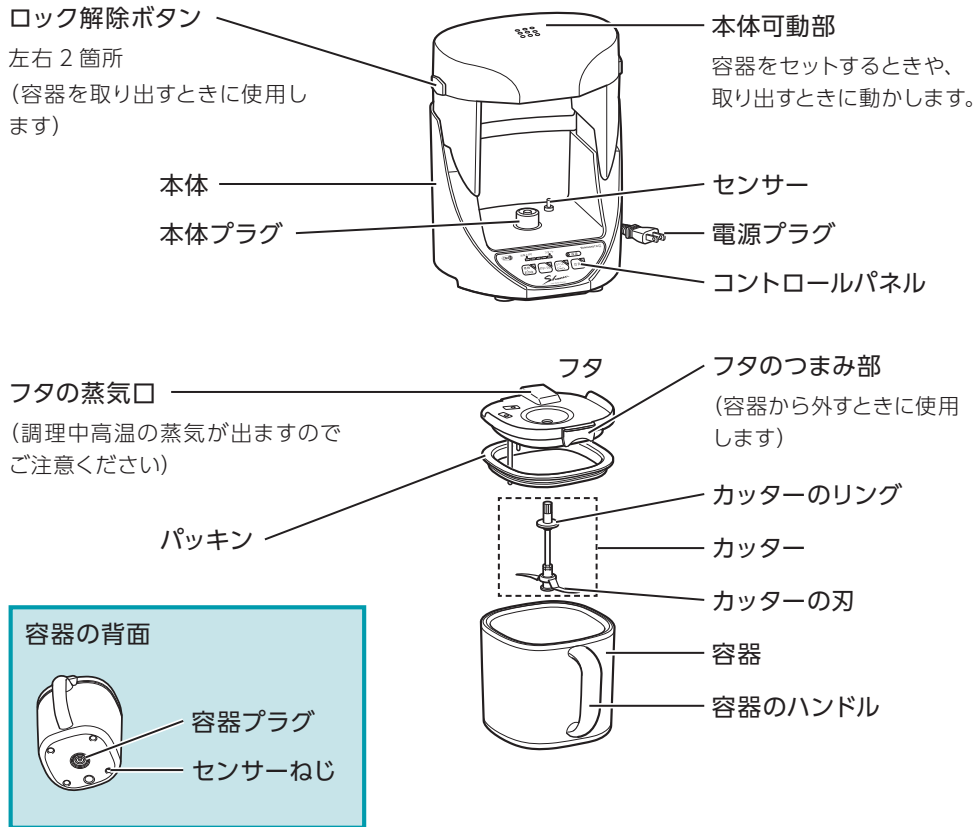
各部名称

本製品の部品や部位の名前です。部品がそろっていることを確認してください。



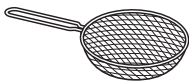
使用前に各部品を取り外して洗浄する場合は、先に本書の説明をよくお読みください。**お手入れ／保管のしかた▶ P.12**

本体



付属品

ざる
(豆乳をこすときに使用します)



取扱説明書



レシピブック



PART 3

本製品でできること

本製品は、次のようなお好みの調理ができる自動調理機です。

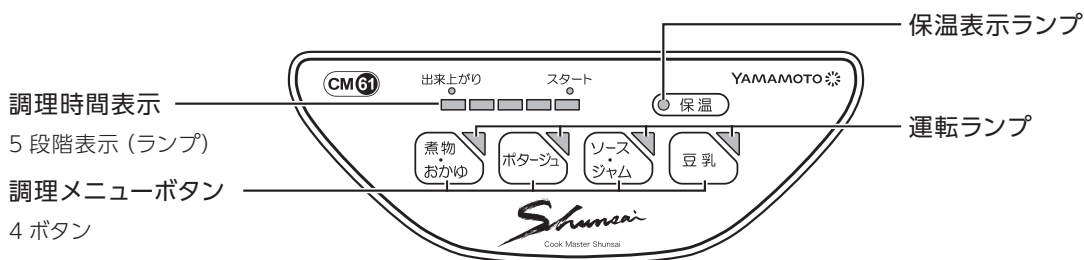
- 煮物やカレー、おかゆやリゾットなどを作る。
- ポタージュ系のなめらかなスープなどを作る。
- パスタソースやフルーツジャムなどを作る。
- 豆乳や豆腐などを作る。

本製品は残った調理物を温めることはできません。
他の容器に移して、電子レンジ等で温めてください。
付属のレシピブックに記載されている水の規定量を
必ずお守りください。



付属のレシピブックをご参照ください。

コントロールパネル



- 調理メニューボタン (4 ボタン)： お好みのメニューに合ったボタンを選択します。
＜煮物・おかゆ＞煮込む調理に適しています。
＜ポタージュ＞粒の残らないなめらかな調理に適しています。
＜ソース・ジャム＞加熱しながらかき混ぜる調理に適しています。
＜豆乳＞大豆から作る豆乳・豆腐などの調理に適しています。
- 調理時間表示
： 調理を開始すると、5 個全てのランプが点灯します。
調理時間を 5 段階として、時間の経過と共にランプが右側から消灯していきます。
【調理時間の目安】
＜煮物・おかゆ＞約 30 分
＜ポタージュ＞約 20 分 + 保温 30 分 (最大)
＜ソース・ジャム＞約 30 分
＜豆乳＞約 20 分 + 保温 30 分 (最大)
調理が終了すると、ランプは全て消灯します。
- 運転ランプ
： 調理メニューボタンを押すと、選択した調理メニューのランプが点灯します。
調理が終了すると、ブザーが鳴り、ランプが点滅します。
- 保温表示ランプ
： 調理が終了すると、ブザーが鳴り、自動で保温が開始され、保温表示ランプが点灯します。
保温時間は約 30 分です。(ポタージュ、豆乳のみ)
その後保温は終了し、保温表示ランプが消灯します。



注意

[煮物・おかゆ] ボタンと [ソース・ジャム] ボタンでの調理後は、保温されません。

PART 4

使いかた

ここでは、調理メニューごとの使い方を説明します。



- ・ カッターにカッターの刃が取り付けられていることを確認してください。**カッターの刃の取り付け ▶ P.13**
- ・ フタにパッキンが取り付けられていることを確認してください。**パッキンの取り付け ▶ P.14**
- ・ お湯は入れないでください。また、牛乳や油脂分の多いものは入れないでください。塩や牛乳、生クリームは調理が終了した後に、味の調えとしてお使いください。
- ・ くりかえし使うときは、30分以上間隔をあけて使用してください。
- ・ 材料や液体の分量は、レシピブックを参考にしてください。

下ごしらえ

- ・ 材料の芯・種・へたなどを取り除き、調理にあった大きさにカットしてください（レシピブック参照）。硬い材料や皮のある材料は、芯や皮が残ったりする場合があります。
- ・ 冷凍されている材料は、完全に解凍してからお使いください。

おかゆを作る場合

米はよく研いで1時間程度水に浸してください。浸した水は捨てて、使用しないでください。

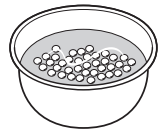
米を水に浸す



豆乳を作る場合

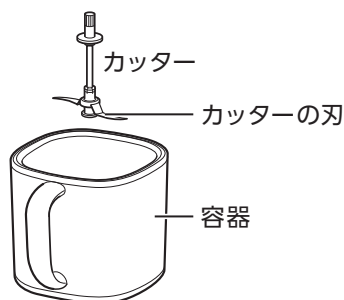
乾燥大豆は10～12時間程度水に浸してもどしてください。浸した水は捨てて、使用しないでください。もどす時間が足りないと、大豆を十分に砕くことができず、豆乳が薄くなってしまいます。

乾燥大豆を
10～12時間
水に浸す



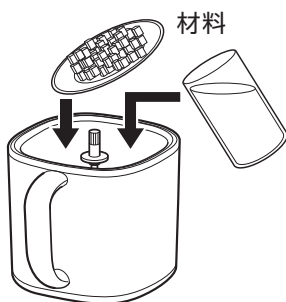
作り方

- 1 フタを取り外し、容器へカッターをセットする。



カッターを、容器内部の中心にある軸に差し込むように、セットします。

- 2 材料を容器へ入れる。



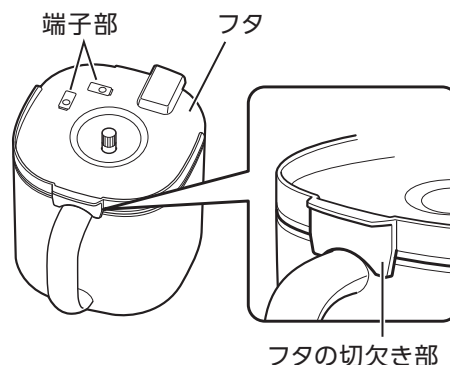
セットしたカッターを抜き取らずに、カッターの周りに材料（材料・液体・調味料等）を入れます。



注意

- ・ 液体の水位は、容器内面の MAX ライン（800 ml）を目安に、超えないように入れてください。分量は、付属のレシピブックを参考にしてください。（レシピブックには、材料や液体が 800 ml を超えるレシピがありますが、このレシピについては問題ありません）
- ・ 液体の最低水位は、350ml 以上を目安に入れてください。（付属のレシピブックのメニューについては、問題ありません）
- ・ レシピブックの規程の水量より少ない場合は、カッターが破損する恐れがあります。
- ・ 液体の量が多すぎたり少なすぎたりしたときは、エラー表示になる場合があります。エラー表示と対処方法で対応してください。**エラー表示と対処方法 ▶ P.17**

- 3 容器にフタをセットする。



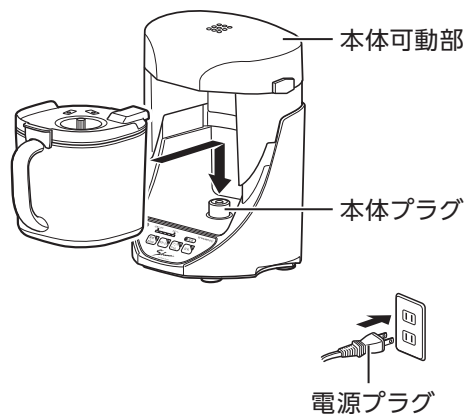
フタの切欠き部を容器のハンドルに合わせて押し込みます。



注意

- ・ 容器とフタの間に隙間がないことを確認してください。隙間があると、吹きこぼれの原因になります。
- ・ フタ上部の端子部（四角の金属）に水滴や汚れが残っているときは、十分に取り除いてください。正常に動作しない場合があります。

- 4 容器を本体へセットし、電源プラグをコンセントに差し込む。



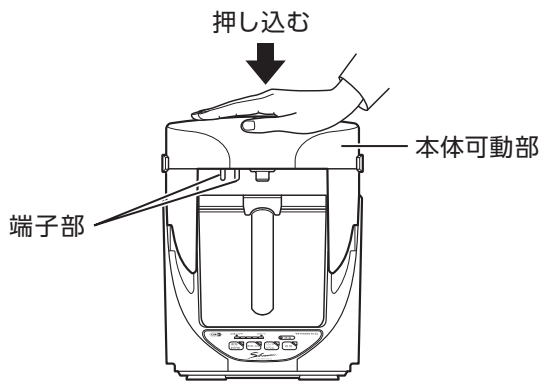
容器を本体の正面から入れ、本体プラグと容器プラグを合わせて、下方向に差し込みます。



注意

- ・ 本体のプラグ、容器のプラグ、本体のセンサー、容器のセンサーねじ（穴）付近に材料や水滴が付着しているときは、取り除いてください。故障の原因になります。

5 本体可動部を「カチン」と音がするまで下に押し込み、本体をロックする。



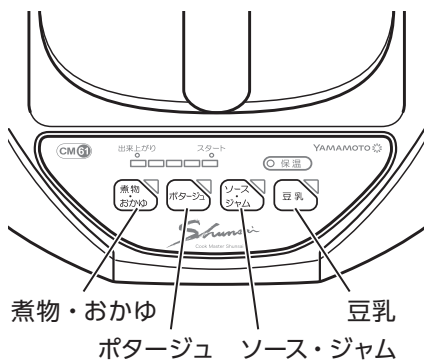
本体の可動部がロックされると、操作パネルの調理ランプが全て点灯します。本体の可動部を押し込めない場合は、容器を少し左右に動かしてから本体の可動部を押し込んでください。



注意

本体可動部の端子部（2本の金属）に材料や汚れが付着しているときは、十分に除去してください。正常に動作しない場合があります。

6 調理メニューに合ったボタンを約1秒押す。



「ピー」というブザーと同時に、押したボタンのランプのみが点灯し、調理が開始されます。カッターの回転直前には、「ピピ」というブザーが鳴ります。



注意

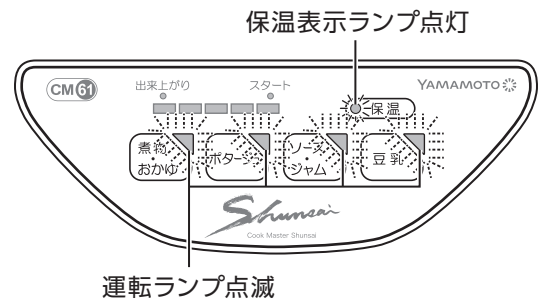
フタの蒸気口から高温の蒸気や液体が噴き出るおそれがあります。顔や手を近づけないでください。



Memo

- ・ 材料によってはカッターが回転すると本体が振動しますが、異常ではありません。
- ・ スイッチを間違えて押した場合は、調理の開始から10秒以内に間違えたボタンを再度押してください。調理を中止できます。その後正しいボタンを押してください。
- ・ 10秒を過ぎてしまった場合には、本体左右2箇所の[ロック解除]ボタンを同時に押し、本体可動部を上げてください。調理が停止されますので、再度本体可動部をセットして正しいボタンを押してください。
- ・ 調理中に[ロック解除]ボタンを押すと、調理が停止されますのでご注意ください。（再運転はできません）

7 「ピー」というブザーが鳴り、調理が終了する。



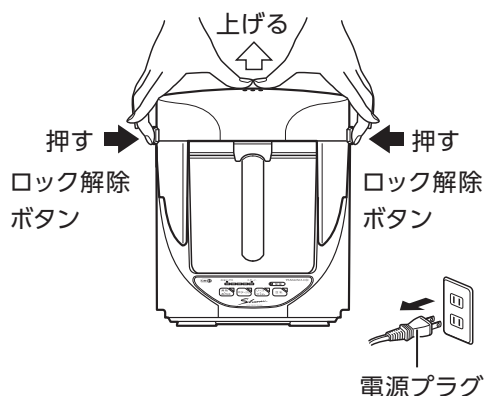
運転ランプが点灯から点滅に変わり、調理が終了します。同時に、保温表示ランプが点灯し、保温を開始します。（ポタージュ、豆乳のみ）



Memo

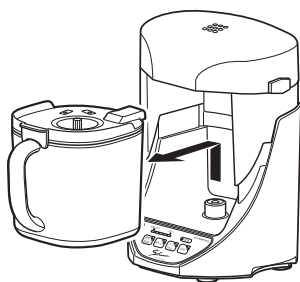
- ・ 保温時間は最大30分です。（ポタージュ、豆乳のみ）保温を中止するには、本体左右2箇所の[ロック解除]ボタンを押し、本体の可動部を上げます。
- ・ 保温開始から30分経過しますと、「ピーピーピー」とブザーが3回鳴り、保温表示ランプが消灯し、保温が終了します。

8 本体のロックを解除し、電源プラグを抜く。



電源が切れ、保温が終了します。
[ロック解除]ボタンは、本体の可動部が跳ね上がらないように、両手でしっかり押さえながら左右同時に押してください。

9 容器を持ち上げながら、静かに手前に引き出す。



本体のプラグを外したことを確認し、ハンドルを持って容器を持ち上げ、静かに手前に引き出します。



- ・フタの蒸気口には手を置かないでください。高温になっていますので、やけどにご注意ください。
- ・容器は、平らな場所に置いてください。

10 フタを取り外す。

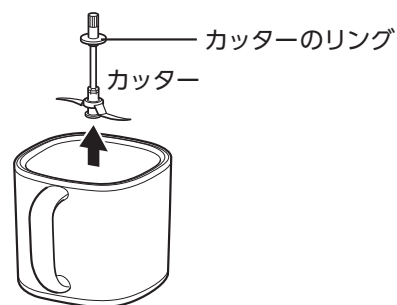


容器のハンドルをつかみ、その手の親指でフタのつまみ部をゆっくり押し上げます。その後、フタを容器からゆっくりはずします。



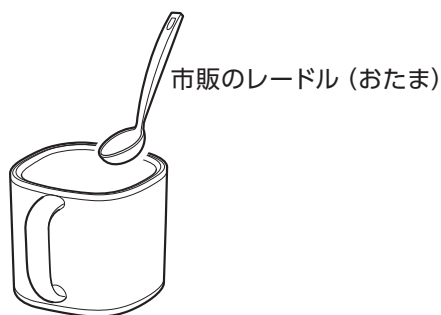
- ・フタを素早く開けると、フタに着いた液体が飛び散り、やけどをするおそれがあります。
- ・フタを開けた際、フタに付着した高温の水滴が落ちてきます。やけどにご注意ください。
- ・フタは高温になっていますので、お子様の手の触れないところに置いてください。

11 カッターのリングの部分を持ってカッターを取り出す。



でき上がり直後は、カッターが高温になっていますので、必ずリングの部分を持って取り出してください(やけどにご注意ください)。

12 調理物を取り出す。



市販のレードル（おたま）を使い、耐熱性のある器に移してお召し上がりください。



注意

- ・ 市販のレードル（おたま）を使い、容器の内面を傷つけないように取り出してください。
- ・ 調理物の量が少量になりましたら、やけどに注意して容器をゆっくり傾け、他の器に移してください。
- ・ 容器の内部は高温になっています。やけどにご注意ください。
- ・ 調理物を温め直す場合には、他の器をご使用ください。容器を直接火にかけたり、電子レンジやオーブンなどで加熱したりしないでください。
- ・ 本製品は残った調理物を温めることはできません。他の容器に移して、電子レンジ等で温めてください。
- ・ 残った調理物を再調理すると、容器底が焦げたり、焦げた臭いがします。また、異常温度保護装置が作動し使用できなくなります。

豆乳の場合



市販のレードル（おたま）で調理物を取り出し、付属のざるを使用し、耐熱性のある器に移してお召し上がりください。

PART 5

お手入れ／保管のしかた

部品によっては、水洗いや、つけ置き洗いができないものがあります。洗う前に以下の表を確認してください。

本体／付属品のお手入れ

部品	水洗い	つけ置き 洗い	洗いかた
本体	×	×	<ul style="list-style-type: none"> よく絞ったやわらかいふきんで拭く。 汚れがひどい場合は、薄めた台所用洗剤（中性）をやわらかい布に浸して、よく絞って本体を拭いた後に乾いた布で拭き取る。
容器	○	×	容器内面はフッ素コーティングですので、薄めた台所用洗剤（中性）とやわらかいスポンジで洗う。
カッター	○	○	刃の部分は鋭利ですので、直接手を触れずに、薄めた台所用洗剤（中性）とブラシで洗う。
パッキン	○	○	フタからはずして、薄めた台所用洗剤（中性）とやわらかいスポンジで洗う。
フタ／付属パーツ	○	○	薄めた台所用洗剤（中性）とやわらかいスポンジやブラシで洗う。



注意

お手入れの際は、以下の事項を必ず守ってください。けがやショート・感電や、表面が傷つく原因になります。

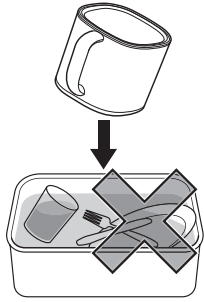
- ・ 電源プラグを抜いてから行う。
- ・ カッターの刃の部分に注意して行う。
- ・ 薄めた台所用洗剤（中性）とやわらかいスポンジで行う。
- ・ スポンジのナイロン面（硬質）・金属たわし・たわし・化学雑巾を使用しない。
- ・ ベンジン・シンナー・アルコール・クレンザー・漂白剤を使用しない。
- ・ 40°以上のお湯・食器洗い乾燥機・食器乾燥機は、使用しない。
- ・ 紫外線殺菌は、行わない。
- ・ 乾いたやわらかい布で、水分を拭き取り、十分に乾燥させる。



Memo

容器・フタ・カッターなどの樹脂部品や、パッキンなどのゴム部品は、にんじん・かぼちゃ・葉菜類の色素が付着して変色します。スポンジで洗っても完全に取れませんが、実用上差し支えありません。使用後は早めにお手入れすると、比較的よく取れます。

容器の洗浄



容器を水の中に入れてない

薄めた台所用洗剤（中性）とやわらかいスポンジを使って、容器内面を洗ってください。容器の外郭（樹脂部）は、よく絞ったやわらかいふきんで拭いてください。



注意

容器は、水の中につけ置き洗いをしないでください。故障の原因になります。
容器プラグとセンサーねじへ水がかからないように注意してください。水が付着したときは、拭き取ってください。



容器プラグ

センサーねじ

カッターの取り付け・取り外しかた

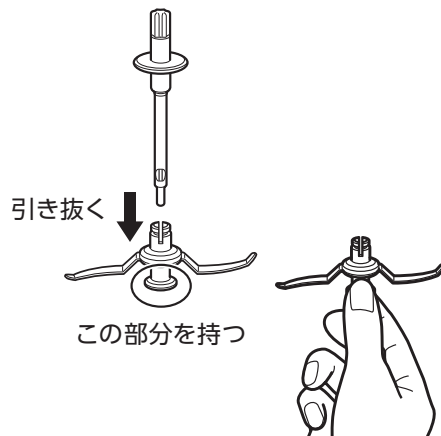


注意

カッターの刃は鋭利ですので、直接手を触れないでください。けがをするおそれがあります。

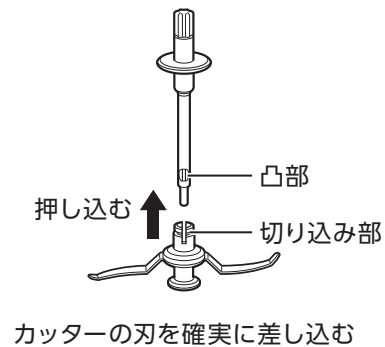
カッターを取り外す

カッターから、カッターの刃を引き抜きます。その後、カッターの刃に注意してブラシ等で洗浄してください。



カッターを取り付ける

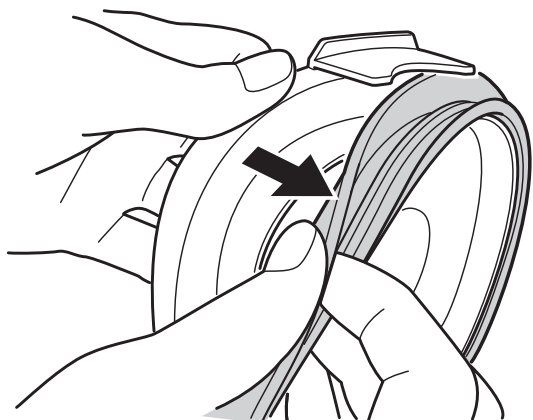
カッターの軸部の凸部と、カッターの刃の切り込み部を合わせて、「カチン」と音が出るまで押し込みます。



パッキンの取り付け・取り外しかた

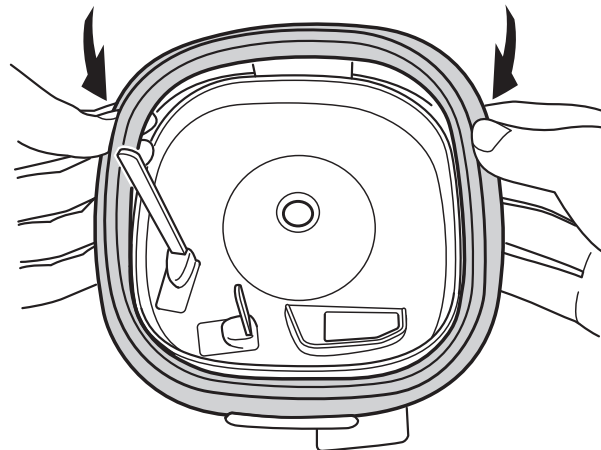
パッキンを取り外す

パッキンを少し広げながら、フタからはずします。
その後、洗浄します。



パッキンを取り付ける

パッキンの形状とフタの形状を合わせて、押し込みます。
形状が合っていないと、材料が漏れる原因になります。



パッキンが装着されないと、正常に動作しません。

注意

保管のしかた

以下のことに注意して保管してください。

- ・ お手入れ後は水分を十分に拭き取って完全に乾燥させてから保管してください。
- ・ カッターは常に容器に取り付けた状態で保管してください。
- ・ 製品は子供や幼児の手に届かないところに保管してください。

PART 6

こんなときは？

まず、以下の表を確認して対処してください。
改善しない場合、弊社サポートラインまでお問い合わせください。

保証とアフターサービス ▶ 裏表紙をご覧ください。

症状	ご確認ください	対処方法	参照
粉碎が粗い	材料が大きくありませんか？	レシピブックを参考に、正しい大きさにカットしてください。	-
	硬い材料ではありませんか？	硬い材料（にんじんなど）は小さめにカットしてください。	-
音が大きい	硬い材料を使用していますか？	硬い材料を粉碎するとき、大きな音や振動が発生しますが異常ではありません。	-
	不安定な場所で使用していませんか？	平らで安定した場所でご使用ください。	-
泡や水滴が噴き出る	冷凍された材料を使用していませんか？	材料を解凍してからご使用ください。冷凍された材料を使用すると、設定時間内に沸騰しないため、温度が上昇せず大量の泡が発生する場合があります。	-
	あくの出る野菜を使用していませんか？	あくの出る野菜は、下ごしらえしてからご使用ください。	-
	大豆やお米を浸した水を使用していませんか？	浸した水は捨てて、新しい水をご使用ください。	-
	おかゆの場合、お米をよく研いでいますか？	お米をよく研ぎ、研いだ水は使用しないでください。	-
	正しい分量ですか？	水が少ないと泡が発生する場合があります。正しい分量でご使用ください。	P.8
容器が焦げる	調理メニューにあったボタンを押していますか？	調理にあった調理メニューのボタンを押してください。	P.9
	少ない水で使用していませんか？	水の量を増やしてください。水の量はレシピブックを参照してください。	P.8
	乳製品や脂肪分の多い材料を使用していませんか？	牛乳などの乳製品や脂肪分の多い材料は使用しないでください。調理後に味の調えとしてお使いください。	-
	正しい分量ですか？	水が少ないと、こげる場合があります。正しい分量でお使いください。	P.8
	残った調理物を再調理していませんか？	残った調理物を温めるときは、他の容器に移して、電子レンジなどで温めてください。	-

症状	ご確認ください	対処方法	参照
電源が入らない	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	-
	パッキンが装着されていますか？	パッキンを正しく装着してください。フタにパッキンが装着していないと電源が入りません。	P.14
	容器をセットしていますか？	フタを装着した容器を本体にセットしてください。容器が正しくセットされていないと、電源が入りません。	P.8
可動部がロックできない	容器が正しくセットされていますか？	容器を正しくセットしてください。容器が傾いているときや、正しくプラグにセットされていないときは、可動部を押し下げてもロックされません。	P.8
	フタが傾いていませんか？	フタを正しくセットしてください。	P.8
調理できない	カッターが装着されていますか？	カッターを正しく装着してください。	P.13
	メニューに合ったボタンを押しましたか？	メニューに合ったボタンを押して調理してください。	P.9
	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。	P.8
カッターが回らない	材料を入れすぎていませんか？	材料を減らしてください。	P.8
	材料が大きすぎませんか？	材料を小さく切り直してください。	-

調理状態

調理状態	ランプ					ブザー	表示内容
	煮物 おかゆ	ポタージュ	ソース ジャム	豆乳	○ 保温		
電源投入	点灯	点灯	点灯	点灯	-	-	調理開始待機状態 (異常なし)
煮物・おかゆ	点灯	-	-	-	-	ピー (1回)	調理開始～調理中
	点滅	-	-	-	-	ピー (1回)	調理終了 (保温なし)
ポタージュ	-	点灯	-	-	-	ピー (1回)	調理開始～調理中
	-	点滅	-	-	点灯	ピー (1回)	調理終了～保温中
	-	点滅	-	-	消灯	ピー (3回)	保温終了
ソース・ジャム	-	-	点灯	-	-	ピー (1回)	調理開始～調理中
	-	-	点滅	-	-	ピー (1回)	調理終了 (保温なし)
豆乳	-	-	-	点灯	-	ピー (1回)	調理開始～調理中
	-	-	-	点滅	点灯	ピー (1回)	調理終了～保温中
	-	-	-	点滅	消灯	ピー (3回)	保温終了

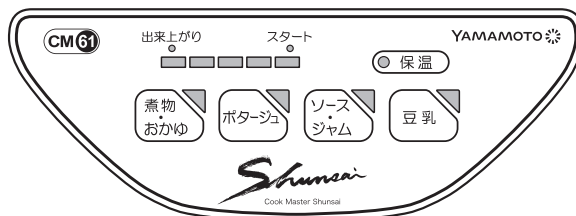
エラー表示と対処方法

ランプ（点滅）とブザー（断続音：ピーピーピー）でお知らせします。

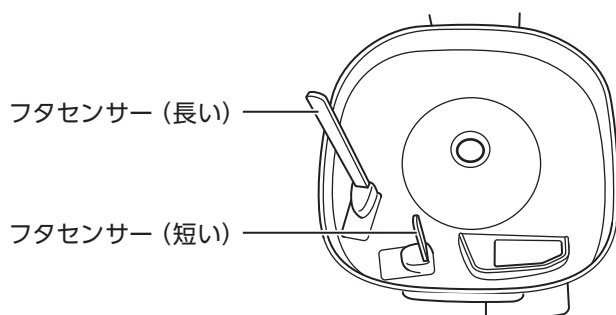
ランプ "点滅"			エラー発生原因	対処方法
煮物 おかゆ	-	-	容器内の材料又は、水量が決められた量を超えています。	材料及び水量を確認し、決められた量にしてください。
			材料が片寄っています。	材料を平らにならしてください。
			フタセンサー（短い）に材料又は、液体が接触しています。	材料及び液体を、フタセンサー（短い）に接触しないように、量を調節してください。
-	ポターージュ	-	容器が本体にセットされていません。	容器にパッキン付きのフタを装着し、本体へセットしてください。
-	-	ソース ジャム	容器内の材料又は、水量が決められた量を下回っています。	材料及び水量を確認し、決められた量にしてください。
			材料が入っていません。	
			フタセンサー（長い）に材料又は、液体が接触していません。	材料及び液体を、フタセンサー（長い）に接触するように、量を調節してください。
煮物 おかゆ	ポターージュ	-	容器内の温度が高温になっています。（異常加熱状態）	容器に決められた量の水が入っているかご確認ください。 調理物を再調理していないかご確認ください。
-	ポターージュ	ソース ジャム	製品の温度が規定温度を超えています。（連続して使用すると発生します）	製品の温度が冷めるまでお待ちください。（約 30 分間）その後、再スタートしてください。
煮物 おかゆ	-	ソース ジャム	製品へ規定以上の負荷がかかっています。（過負荷状態）	材料及び水量を確認し、決められた量・決められた材料の大きさにしてください。

上記の対処をしても改善できない場合や、上記以外エラー表示が出た場合には、ご使用をただちに中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または、山本電気お客様相談センターへご相談ください。

操作パネル



フタセンサー



フタセンサー（長い）	材料及び液体が、決められた量を下回っているときに検知し、エラーになります。
フタセンサー（短い）	材料及び液体が、決められた量を超えているときに検知し、エラーになります。

PART 7

製品の仕様

品番	YE-CM61W
電源	交流 100 V 50-60 Hz 共通
消費電力	800 W
定格時間 (最大調理時間) * ¹	30 分
大きさ * ²	容量 : 800 ml
	幅 : 25.2 cm
	奥行き : 21.4 cm
	高さ : 30 cm ※本体上昇時 : 33.3 cm
質量 * ²	3.5kg
コードの長さ * ²	1.4m

* 1 調理メニューによって異なります。

* 2 おおよその数値です。

クックマスター・Shunsai 保証書

製品名 YE-CM61W	製造ロット番号: (本体側面記載)
お名前	
ご住所 〒	
TEL ()	
お買上げ日 年 月 日	保証期間 お買上げ日より本体 1 年間
販売店名	

山本電気株式会社 〒 962-0818 福島県須賀川市和田道 116 TEL(0248)73-0835

お客様の 個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本製品貼付ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理とさせていただきます。
修理の際には、製品とともに本書を当社指定の修理用品送付先までお送りください。
尚、当社指定以外の部品を用いた改造による故障・損傷につきましては、保証対象外となります。
2. 次の場合には保証期間内でも有料となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合
 - (2) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、字句を書き換えられた場合
 - (3) 使用上の誤り、不当な修理、調整による故障及び損傷
 - (4) お買上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
 - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、異常電圧など不慮の事故による故障および損傷
3. 本製品が不当に修理や改造された場合は、修理をお引受けできない場合があります。
4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. 本保証書は、再発行致しませんので、大切に保管してください。
*この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買上げの販売店または山本電気お客様相談センターにお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証について

- ・ 本製品に同梱の保証書は、無料修理規定に基づき、無料修理を行うことをお約束するものです。
- ・ 証書は再発行しませんので、販売店・ご購入日などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- ・ 保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。

保証期間内に修理を依頼されるとき

「PART6 こんなときは？」をお確かめいただき、弊社お客様相談センターにご連絡ください。

保証書の記載内容に応じて、責任を持って修理させていただきます。

その際、以下をご連絡ください。

住所、氏名、電話番号、製品名、購入日、故障内容（詳しく）


保証期間を過ぎてから修理を依頼されるとき

弊社お客様相談センターに、まずご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

ただし、補修用の性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービス、その他について ご不明な点があるとき

山本電気お客様相談センター

 0570-014958

受付時間 9:00～18:00（年末年始を除く）

修理品送付先：山本電気株式会社
〒962-0818 福島県須賀川市和田道 116
TEL 0248-73-0835

発売元：山本電気株式会社

カスタマー登録

YAMAMOTO の商品をお買い上げ・ご利用ありがとうございます。

商品をお愛用をもって永くお使いいただくために、カスタマー登録をおすすめします。

カスタマー登録の方法は以下のとおりです。

登録方法

ご登録・詳細は下記 WEB サイトからアクセスしてください。

http://www.ydk.jp/support/contact_signup.php



登録するときに必要なもの

「登録コード」と「製造ロット番号」が必要です。

登録コード：YE-CM61W

製造番号：（本体側面記載）7桁の数字

※登録にあたっては上記 WEB サイト記載の注意事項をご確認ください。


消耗部品について

カッター、パッキン、容器は消耗品です。ご使用にともない傷んでいきます。

消耗部品については、お買い上げの販売店または、最寄の取扱店にお問い合わせください。

山本電気製品の消耗部品・オプション品がお近くの販売店で入手困難な場合には、通信販売も承ります。

山本電気お客様相談センターにお問い合わせください。

愛情点検	長年ご使用のクックマスター・Shunsai の点検を！	
 <p>こんな症状はありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。● 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。● 時々運転しないことがある。● 製品が異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする。● 製品に触るとビリビリと電気を感じる。● 運転中に異常な音がある。● 製品が変形したり、割れ・水漏れ・がたつきがある。● その他異常や故障がある。	<p>ご使用を中止し、故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。</p>

YAMAMOTO ELECTRIC CORPORATION

山本電気株式会社 〒962-0818 福島県須賀川市和田道 116

<http://www.ydk.jp/>

